

3章 市川市のスポーツの現況と課題

1. スポーツ施設の整備状況

(1) 公共スポーツ施設数と立地

- ・市川市には、市川市スポーツセンター、塩浜市民体育館といった複合スポーツ施設の他、野球場、体育館、屋外プールなどの公共スポーツ施設が立地しています。
- ・市川市北東部地区は、他地区と比較し、スポーツ施設の数や種類が少なくなっています。

- ・市川市には、野球場、サッカー場、テニスコートなどの屋外スポーツ場、体育館、老人いこいの家、体育館など様々なスポーツ施設が立地しています。老人いこいの家は、高齢者のスポーツ振興の場となっているため、スポーツ施設とみなしました。
- ・地区別の施設数をみると、市川市中部(29.4%)、市川市南部(30.6%)が多くなっております。
- ・地区別の一人あたりあたりのスポーツ施設数(整備原単位)をみると、北東部や南部のスポーツ施設整備水準が低いことが分かります。
- ・市川市北東部には、野球場、テニスコートなどの立地が見られません。

図表3-1: 既存公共スポーツ施設の施設数 平成19年4月1日現在

| | 市川市北東部 (北方、大野地域 で大柏川流域) | 市川市北西部 (国府台、国分地 域で江戸川を含 む) | 市川市中部 (高谷、本行徳 地域で江戸川を 挟む) | 市川市南部 (福栄、新浜地域 で海浜部を含む) | 総計 |
|------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|---------|
| 野球場 | 0 | 1(1面) | 5(5面) | 4(6面) | 10(12面) |
| 少年広場など(少年野 球ができるもの) | 4(7面) | 2(2面) | 5(5面) | 2(3面) | 13(17面) |
| サッカー場 | 0 | 1(1面) | 1(1面) | 1(2面) | 3(4面) |
| テニスコート | 0 | 2(11面) | 0 | 4(12面) | 6(23面) |
| 体育館、体育室 | 2 | 4 | 3 | 3 | 12 |
| 武道用施設 1 | 0 | 3 | 0 | 3 | 6 |
| ソフトボール場 | 0 | 0 | 2(2面) | 0 | 2(2面) |
| 屋外プール | 1 | 0 | 0 | 3 | 4 |
| トレーニング場 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| 陸上競技場 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| ゲートボール場 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 運動広場など | 3 | 1 | 2 | 0 | 6 |
| 老人いこいの家 | 3 | 2 | 4 | 4 | 13 |
| その他 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 3 |
| 総計 | 15 | 19 | 25 | 26 | 85 |
| | 17.6% | 22.4% | 29.4% | 30.6% | 100.0% |
| 人口(人) 3 | 104,347 | 94,223 | 112,518 | 156,886 | 467,974 |
| | 22.3% | 20.1% | 24.0% | 33.5% | 100.0% |
| 整備原単位 4 | 1.438 | 2.016 | 2.222 | 1.657 | 1.816 |

1: 剣道場(2)、柔道場(2)、相撲場(1)、弓道場(1)

2: ランニングコース、キャンプ場、冒険遊具コース

3: 平成18年9月1日常駐人口調査

4: 一人に対するスポーツ施設の数とする

(2) 公共スポーツ施設の築年数

市川市のスポーツ施設は、全般的に老朽化が進んでいます。

- ・市川市のスポーツ施設は全般的に老朽化が進んでおり、特に市川市スポーツセンター、いちかわ市民キャンプ場などでは、市民から再整備などの声があがっています。

図表3 - 2 : 主要なスポーツ施設の築年数 平成18年現在

| 名称 | 種別 | 築年数(年) | 耐用年数の目安(年) | 耐用年数の超過 |
|-------------|---------|--------|-------------------------|---------|
| 市川市スポーツセンター | 陸上競技場 | 53 | スタンド：30～45 競技スペース：30 | |
| | 野球場 | 56 | 30 | |
| | 体育館 | 33 | 30～50 | |
| 市川市民プール | 屋外プール | 24 | 30 | |
| 信篤市民体育館 | 体育館 | 21 | 30～50 | |
| 塩浜市民体育館 | 体育館 | 18 | 30～50 | |
| 福栄スポーツ広場 | 野球場、テニス | 13 | 30 | |
| いちかわ市民キャンプ場 | キャンプ場 | 19 | - | |

耐用年数は耐用年数省令（財務省）を参照
 体育館(SRC造、RC造)47年、スタンド45年
 体育館(S造)34年、スタンド30年

(参考) 市川市スポーツセンターに対する意見 市民意向調査及びパブリックコメントより抜粋

- ・市川市スポーツセンターが老朽化していると思う。
- ・国府台野球場は、トイレ、ロッカー、スコアボードなどが昭和20年代から大きな更新が無く、県内他施設と比べて見劣りする。
- ・国府台市民体育館を利用した事があるが、施設がかなり古くなっていたので、そろそろ更新して欲しい。
- ・国府台スポーツセンターのテニスコート(クレイコート)を多少の雨でも使える砂入り人工芝にしてもらいたい。
- ・市川市スポーツセンター屋外トイレの改修、駐車場の拡充、野球場の人工芝化等、既存施設のリニューアルをして欲しい。
- ・国府台球場は、市川市唯一の公式グラウンドとなっているが、整備のため、例年1月から3月まで使用できない。通年使用可能とするため人工芝化を要望する。



国府台市民体育館

(3) 近隣市区との公共スポーツ施設整備の比較

市川市のスポーツ施設の整備水準は、近隣市と同様な水準となっています。

- ・野球場は市内に 13 面整備されており、整備水準は隣接市に比べ平均的な水準となっています。江戸川沿いに多くの野球場が取れるといった、恵まれた環境にある江戸川区や江東区と比較すると、1/2～1/3 程度の整備水準となっており、今後、水準を近づけていくことが望まれます。
- ・サッカー場が市内に 4 面整備されており、整備水準は隣接市に比べ平均的な水準となっています。
- ・テニスコートは、いくつかの隣接市と同様の水準となっていますが、柏市、浦安市と比べると、1/3 程度の整備水準となっています。
- ・陸上競技場は、市川市及びその周辺の地区では、1 前後の施設数となっています。
- ・体育館は、近隣市区と比べて、平均的な整備水準となっています。
- ・近隣市区では整備されている屋内プールは、現在整備中です。

図表 3 - 3 : 隣接市区との公共スポーツ施設の整備水準の比較 平成 18 年現在

| | 人口 (万人) | 野球場 | | サッカー場 | | テニスコート | |
|------|------------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | | 面数(面) | 整備原単位 | 面数(面) | 整備原単位 | 面数(面) | 整備原単位 |
| 市川市 | 46.6 | 12 | 0.258 | 4 | 0.086 | 23 | 0.494 |
| 船橋市 | 57.0 | 8 | 0.140 | 4 | 0.070 | 27 | 0.474 |
| 松戸市 | 47.3 | 9 | 0.190 | 2 | 0.042 | 29 | 0.614 |
| 柏市 | 38.1 | 10 | 0.262 | 5 | 0.131 | 51 | 1.339 |
| 浦安市 | 15.5 | 5 | 0.323 | 3 | 0.194 | 26 | 1.674 |
| 鎌ヶ谷市 | 10.3 | 1 | 0.097 | 0 | 0.000 | 6 | 0.584 |
| 江戸川区 | 65.4 | 30 | 0.459 | 11 | 0.168 | 34 | 0.520 |
| 江東区 | 41.2 | 16 | 0.388 | 2 | 0.049 | 25 | 0.607 |

| | 人口 (万人) | 陸上競技場 | | 体育館 | | 屋内プール | |
|------|------------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|
| | | 箇所数 | 整備原単位 | 箇所数 | 整備原単位 | 箇所数 | 整備原単位 |
| 市川市 | 46.6 | 1 | 0.021 | 3 | 0.064 | 0 | 0.000 |
| 船橋市 | 57.0 | 1 | 0.018 | 2 | 0.035 | 2 | 0.035 |
| 松戸市 | 47.3 | 1 | 0.021 | 4 | 0.085 | 3 | 0.063 |
| 柏市 | 38.1 | 1 | 0.026 | 3 | 0.079 | 0 | 0.000 |
| 浦安市 | 15.5 | 0 | 0.000 | 1 | 0.064 | 1 | 0.065 |
| 鎌ヶ谷市 | 10.3 | 1 | 0.097 | 1 | 0.097 | 0 | 0.000 |
| 江戸川区 | 65.4 | 1 | 0.015 | 2 | 0.031 | 4 | 0.061 |
| 江東区 | 41.2 | 2 | 0.049 | 6 | 0.146 | 6 | 0.146 |

人口：平成 17 年度国勢調査

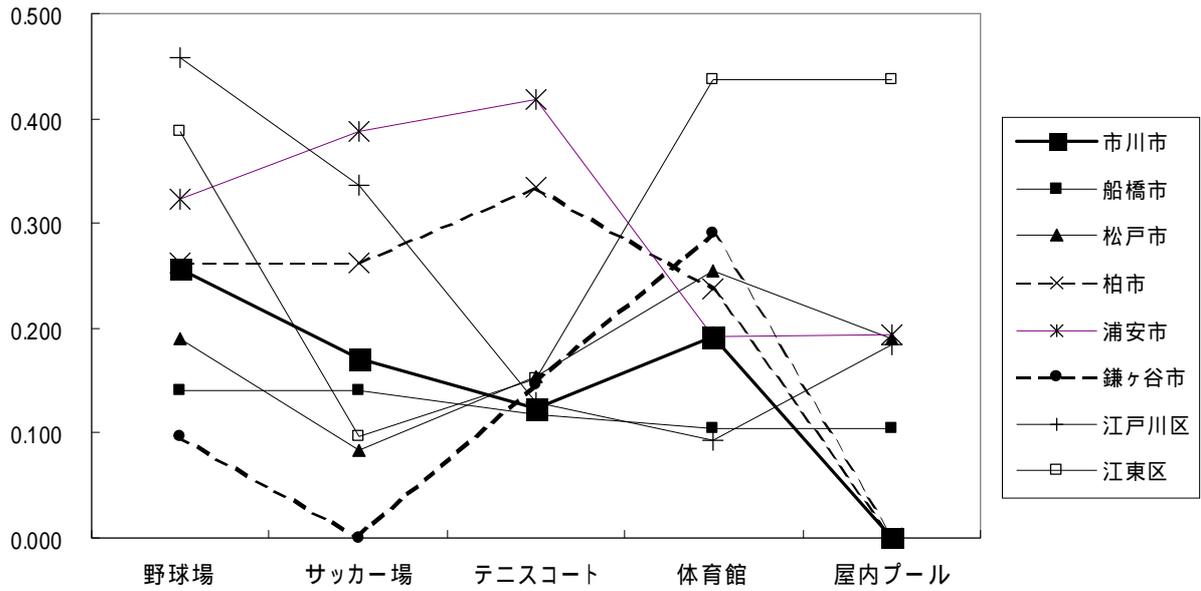
整備原単位：一万人に対するスポーツ施設の数とする

野球場：少年野球場、ソフトボール場は含まず

サッカー場；少年サッカー場、フットサルコートを含まず

体育館：公民館等の体育室は含まない

図表3 - 4：隣接市区との公共スポーツ施設の整備水準の比較 平成18年現在



施設整備基準の整備原単位を、以下の人数に対する施設数に変更

| | |
|--------|-----|
| 野球場 | 1万人 |
| サッカー場 | 2万人 |
| テニスコート | 5千人 |
| 体育館 | 3万人 |
| 屋内プール | 3万人 |



中国分スポーツ広場



市川市営陸上競技場



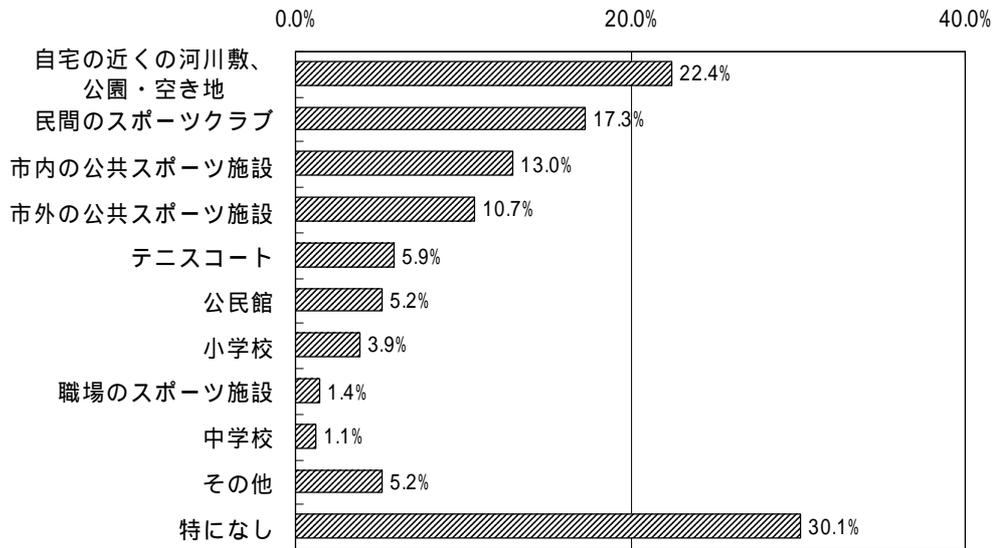
塩浜市民体育館

(4) 公共スポーツ施設の利用状況

- ・公共スポーツ施設や、スポーツができる公共の空間が、市民のスポーツ活動の場として利用されています。
- ・公共スポーツ施設の利用者の多くが、その施設に満足しています。

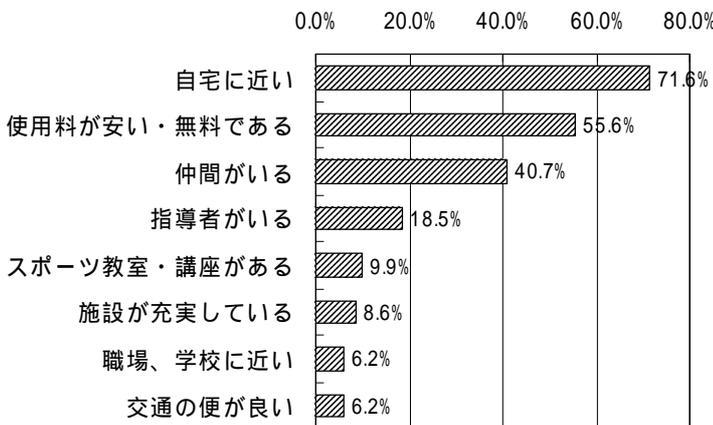
- ・市民のスポーツ・運動の実施場所として、自宅の近くの河川敷、公園・空き地(22.4%)や、民間のスポーツクラブ(17.3%)、野球場、体育館、プールなどの公共スポーツ施設(13.0%)が、あげられています。
- ・河川敷、公園を、公共の空間と考え、また公民館、小学校・中学校を公共スポーツ施設として捉えると、公共の施設・場所で、多くの市民がスポーツを実施していると考えられます。
- ・公共スポーツ施設は、自宅に近い(71.6%)、使用料が安い・無料である(55.6%)、仲間がいる(40.7%)といった理由から、利用されています。
- ・公共スポーツ施設を利用者の75.4%が、その施設に満足しています。

図表3 - 5 : スポーツをする施設・場所 18歳以上の市民、n=1,743

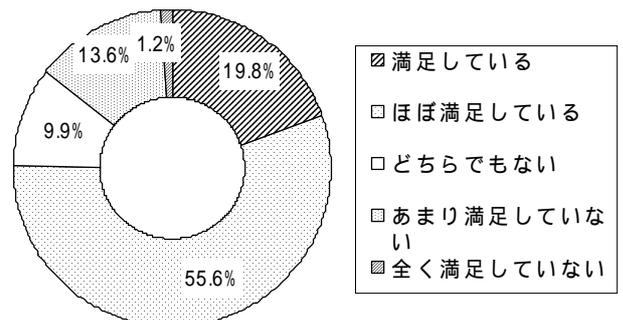


図表3 - 6 : 公共スポーツ施設を利用する理由

18歳以上の公共スポーツ施設利用者(公民館、小中学校含む) n=81



図表3 - 7 : 公共スポーツ施設の満足度
18歳以上の公共スポーツ施設利用者(公民館、小中学校含む) n=81

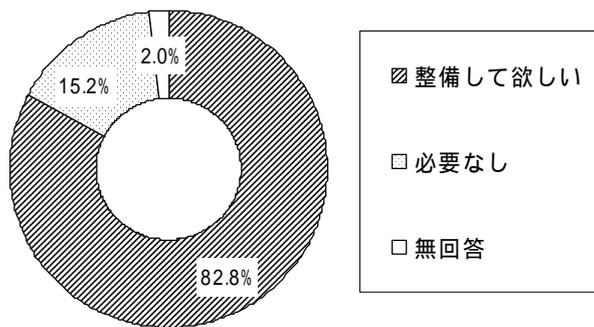


(5) スポーツ施設の整備需要

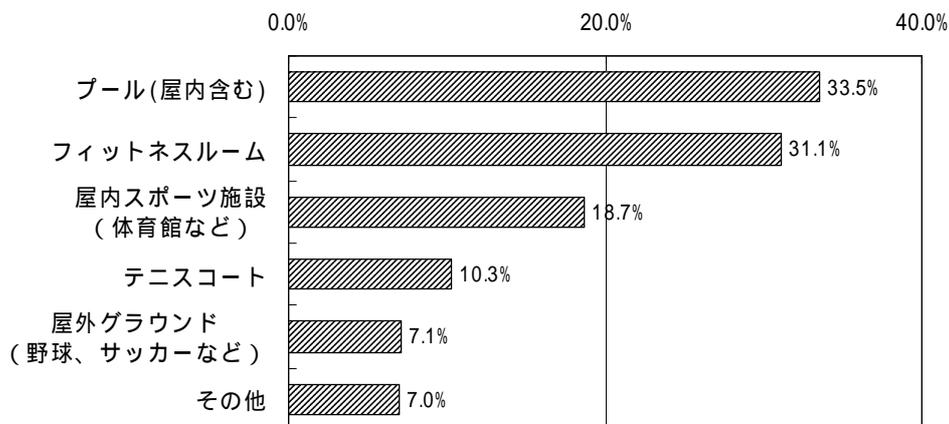
- ・新たなスポーツ施設の整備を希望する人が、82.8%を占め、多くなっています。
- ・屋内を含むプール、フィットネスルーム、体育館など屋内スポーツ施設の整備需要が高くなっています。
- ・一方で、野球やサッカーなどのスポーツ施設の不足が指摘されており、整備が望まれています。
(市民ワークショップでのご意見)

- ・新たなスポーツ施設の整備を希望する人の割合が82.8%となっており、必要ないとする人の割合(15.2%)を、大きく上回っています。
- ・屋内を含むプール(33.5%)、フィットネスルーム(31.1%)、体育館など屋内スポーツ施設(18.7%)の整備需要が高くなっています。

図表3 - 8 : 新たなスポーツ施設整備の需要 18歳以上の市民、n=1,743



図表3 - 9 : 整備して欲しいスポーツ施設 18歳以上の市民、n=1,434

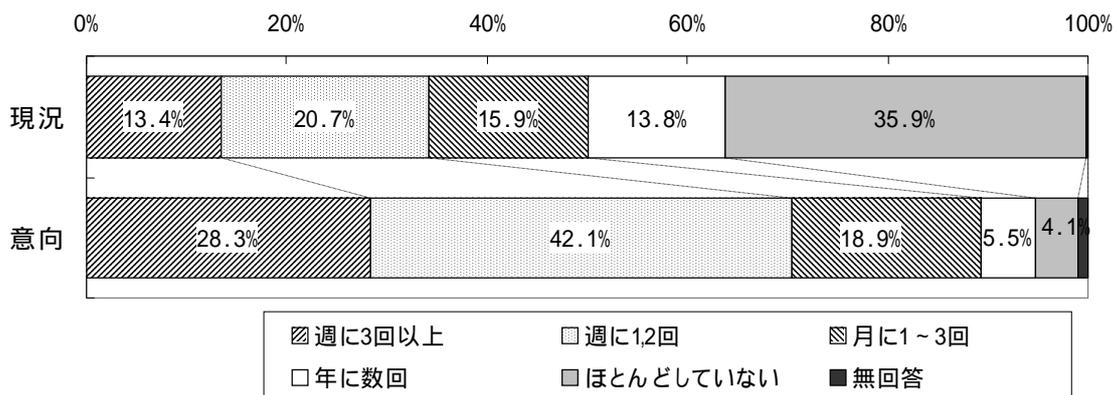


2. 市民のスポーツの実施状況と意向

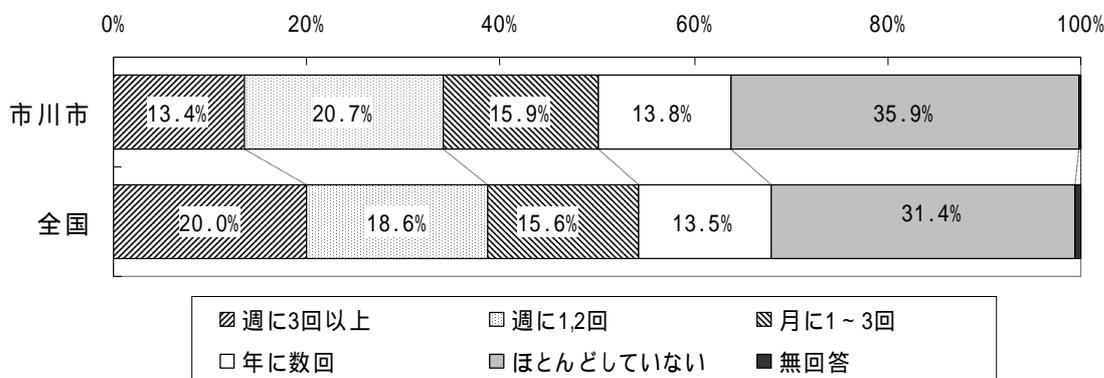
- ・市民の 34.1%の人が週に1回以上スポーツを行っている一方、ほとんど行っていない人が 35.9%を占め、スポーツ実施頻度に、個人差があり、二極化の傾向が見られます。
- ・週に1回以上スポーツを行いたい人が、現況に比べ、34.1%から70.4%に大きく増加しており、多くの人々が現況より多くの頻度で、スポーツに取り組む意向があることが分かります。
- ・市川市のスポーツの実施状況は、全国と比べ、全般的に低くなっています。

- ・市民の 34.1%の人が週に1回以上スポーツを行っている一方、ほとんど行っていない人が 35.9%を占めています。
- ・週に1回以上スポーツを行いたい人が、現況に比べ、34.1%から70.4%に大きく増加しています。(週に1回以上スポーツしている、したい人の総割合を比較)
- ・「週に1,2回」スポーツに取り組みたいと答えた人の割合(42.1%)が最も大きくなっています。
- ・市川市のスポーツの実施状況は、全国と比べ、全般的に低くなっています。(週に3回以上実施している割合：市川13.4%、全国20.0%　ほとんどしていない割合：市川35.9%、全国31.4%)

図表3-10：スポーツ・レクリエーションの実施状況と意向 18歳以上の市民、n=1,743



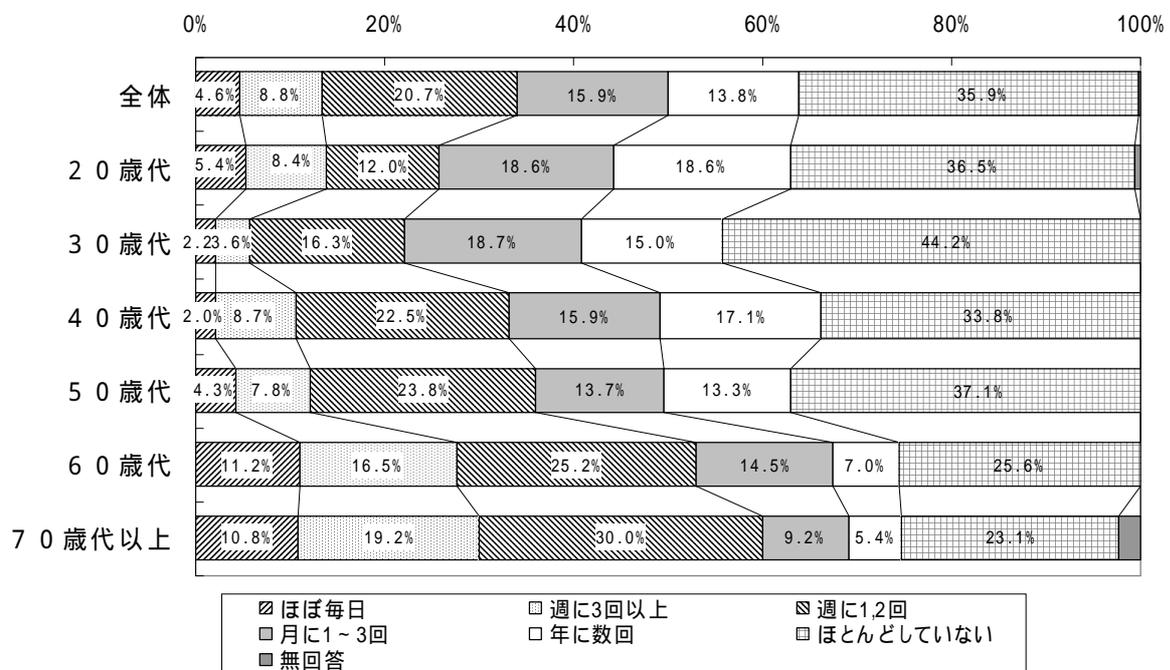
図表3-11：スポーツ・レクリエーションの実施状況の比較（市川市と全国） 全国データは内閣府調べ（平成16年）



- ・60歳代、70歳代といった高齢者のスポーツ実施率が、高くなっています。
- ・20歳代、30歳代といった若年層のスポーツ実施率が低く、30歳代で最も低くなっています。

- ・年齢別のスポーツ実施状況を見ると、30歳代で最も低く、高齢になるにつれて、頻度が高くなっています。
- ・週に一回以上スポーツをする人の割合は、70歳代以上で60.0%と、最も高くなっています。60歳代では52.9%となっており、70歳代以上に続いて高い割合となっています。
- ・一方、30歳代で22.1%となっており、週に一回以上スポーツをする人の割合は、最も少なくなっています。続いて20歳代が25.8%と少ない割合となっています。
- ・スポーツをほとんどしない割合は、30歳代で最も高く(44.2%)、50歳代(37.1%)、20歳代(36.5%)が続きます。

図表3 - 12：年齢別スポーツ・レクリエーションの実施状況 18歳以上の市民、n=1,743



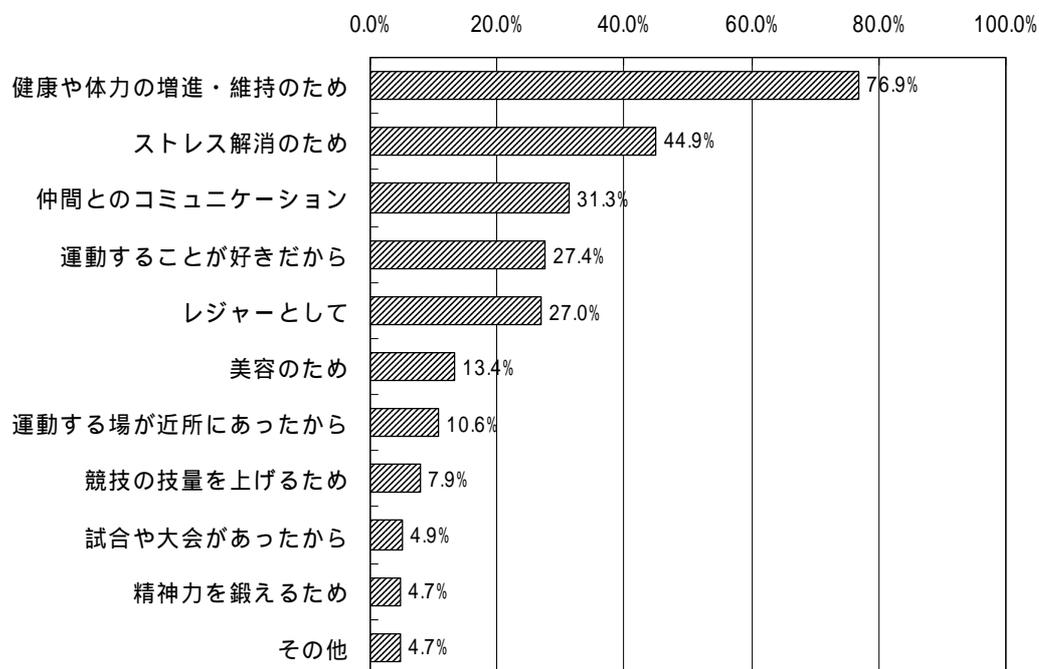
20歳代は、18歳、19歳も含む

3. スポーツをする理由としない理由

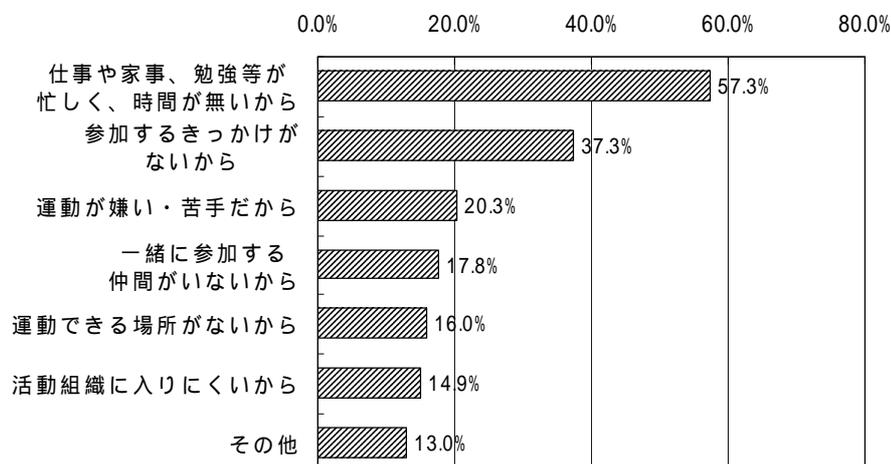
- ・スポーツをする理由として、健康や体力の増進・維持のため、ストレス解消のため、といった理由があげられています。
- ・スポーツをしない理由として、仕事や家事、勉強等が忙しく、時間が無い、参加するきっかけがないといった理由があげられています。

- ・スポーツをする理由として、「健康や体力の増進・維持のため」(76.9%)、「ストレス解消のため」(44.9%)といった理由があげられています。
- ・スポーツをしない理由としては、「仕事や家事、勉強等が忙しく、時間が無いから(57.3%)」が最も高く、続いて「参加するきっかけがないから(37.3%)」があげられています。

図表3 - 13：スポーツをする理由 18歳以上の市民、n=1,113



図表3 - 14：スポーツをしない理由 18歳以上の市民、n=625

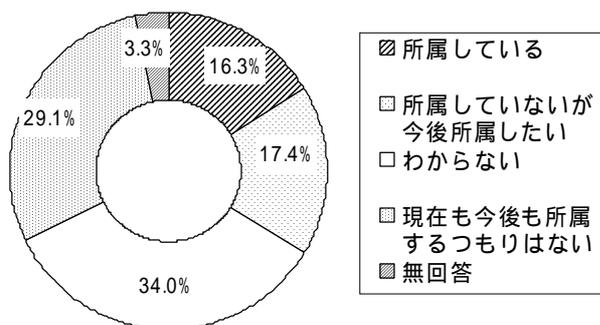


4 . 地域のスポーツクラブ

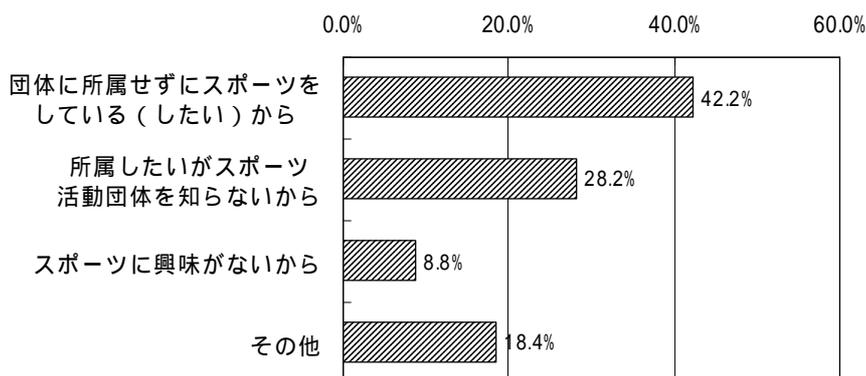
- ・スポーツ活動団体に所属していない人の割合が80.5%と高くなっています。
- ・一方で、スポーツ活動団体に所属していないが今後所属したい(17.4%)といった潜在的なニーズがあることが分かります。

- ・スポーツ活動団体に所属している人(16.3%)より、所属していない人の方が多くなっています(80.5%)。
- ・所属していないが今後所属したい人の割合は17.4%あり、現在所属している人(16.3%)と同程度の割合となっています。
- ・スポーツ活動団体に所属しない理由として「団体に所属せずにスポーツをしている(したい)から」と回答した人が最も多くなっています。(42.2%)

図表3 - 15 : スポーツ活動団体への所属 18歳以上の市民、n=609



図表3 - 16 : スポーツ活動団体に所属しない理由 18歳以上の市民、n=490

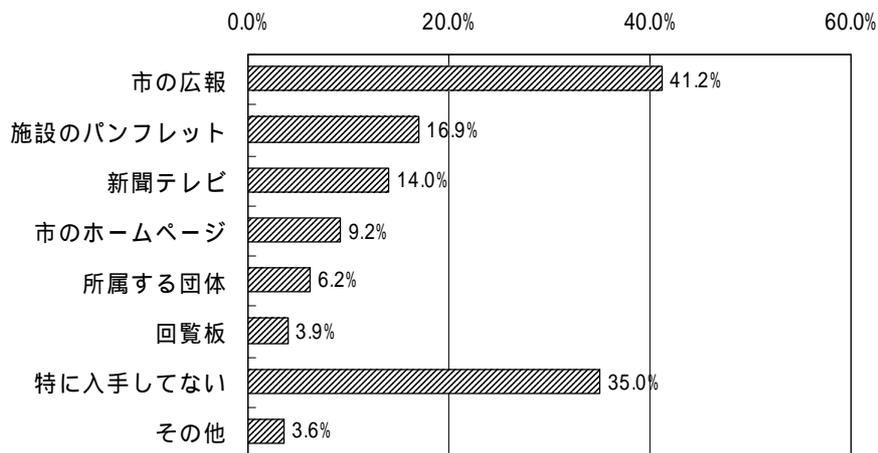


5 . スポーツに関する情報

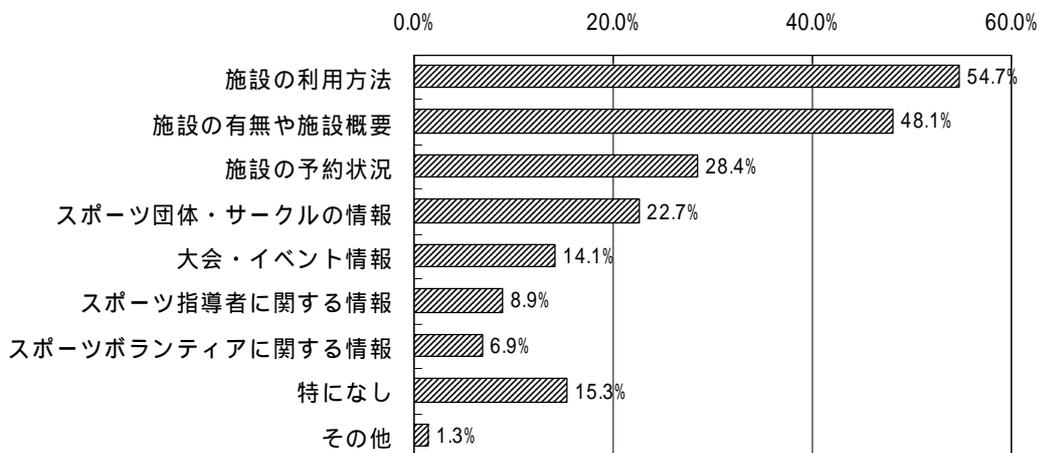
- ・スポーツに関する情報について、特に入手してない割合が、35.0%を占めています。
- ・施設の利用方法、施設の有無や施設概要が、欲しいスポーツに関する情報として多くあげられています。

- ・スポーツに関する情報の入手手段として、「市の広報(41.2%)」が最も多くあげられています。
- ・「特に入手してない」が次いで多く、全体の35.0%を占めました。
- ・「施設の利用方法(54.7%)」「施設の有無や施設概要(48.1%)」が、欲しいスポーツに関する情報と多くあげられています。
- ・欲しいスポーツに関する情報として、施設の利用方法、施設の有無や施設概要といったハードに関する情報が、スポーツ団体・サークルの情報、大会・イベント情報といったソフトに関する情報より優先順位が高くなっています。

図表3 - 17：スポーツに関する情報の入手手段 18歳以上の市民、n=609



図表3 - 18：欲しいスポーツに関する情報 18歳以上の市民、n=609



6 . スポーツに関するイベント・教室

- ・市川市では、市民全般、高齢者、小中学生などを対象に、様々なスポーツイベントや教室が実施されています。
- ・スポーツ教室や青少年のクラブ活動など多くの場面で、スポーツ指導者が必要とされていますが、現在、指導者の不足が指摘されています。(市民ワークショップでのご意見)

図表3 - 19：主なスポーツに関する教室 平成18年

| 対象者層 | 教室名 |
|----------|--|
| 全般 | アクアピクス教室、市民スポーツ教室、健康づくり教室、リズムダンス教室、エアロピクスダンス教室、ピラティス教室、Body Control 教室、保健・栄養・運動指導、栄養運動フィットネス教室、生活習慣病（成人病）予防食事講座（糖尿病・コレステロール）、ヘルス教室（生活習慣病予防講座）、サタデースポーツ教室 |
| 未就学児と保護者 | 親子体操教室、親子水泳教室 |
| 障害者 | 障害者軽スポーツ教室 |
| 高齢者 | シルバー体操教室、いきいき健康教室、高齢者ミニデイセンター |

図表3 - 20：主なスポーツに関するイベント 平成18年

体育の日記念行事みんなでスポーツ/元旦マラソン大会/スポーツレクリエーション祭/
 ファミリーデイキャンプ/ウォーキングいちかわ/スポーツ指導者講習会/
 市民ゲートボール大会/少年野球大会/女子フットベースボール/
 P T Aバドミントン大会/P T A卓球大会/P T Aバレー大会/P T A野球大会/
 千葉県障害者スポーツ大会



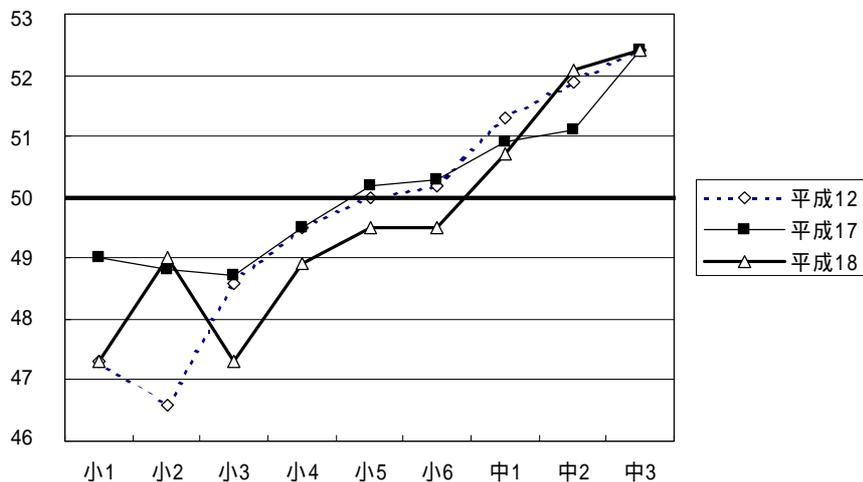
福栄スポーツ広場テニスコート

7. 小・中学生の体力（平成 17、18 年度）

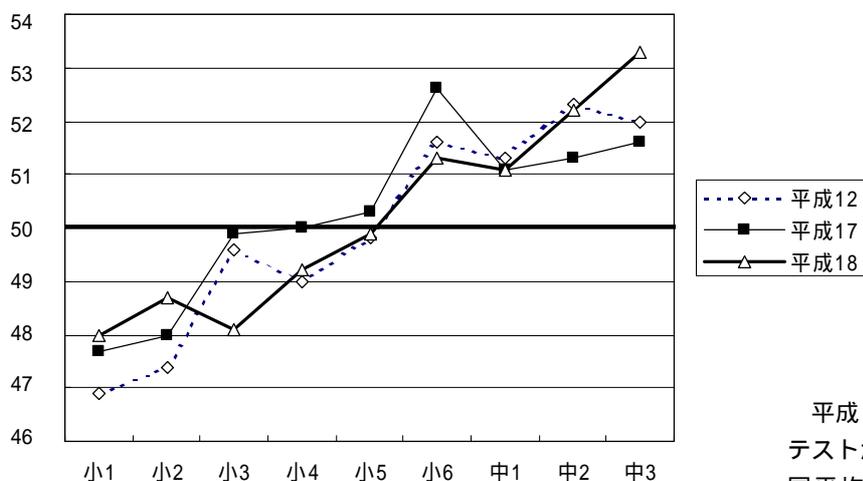
- ・市川市の小学生の体力は、全国平均よりやや低くなっています。
- ・一方、中学生の体力は、全国平均より高くなっています。
- ・小学生は、学年が上がるにつれ、全国平均に近づき、さらに中学生は、全国平均を上回る傾向にあります。

- ・新体力テスト（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ・ハンドボール投げ）の成績から小・中学生の体力の動向をみました。
- ・小学生は男女ともに、おおむね全学年で全国平均を下回っています。
- ・一方、中学生は男女ともに、全学年で全国平均を上回っています。
- ・近年、市川市の小学生低学年では、全国平均を下回っているものの、学年が上がるにつれて、全国平均に近づき、小学校高学年から中学生にかけて、全国平均を上回る傾向となっています。

図表 3 - 21：全国平均を 50 とした新体力テストのデータ(男子)



図表 3 - 22：全国平均を 50 とした新体力テストのデータ(女子)



平成 12 年度は、新体力テストが導入後、初めて全国平均と比較できた年となっています。

8 . 課題の整理と基本方向

市川市のスポーツ環境の課題を整理し、課題に対する基本方向を定めました。

| 主な課題 | 基本方向 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・市川市北東部地区は、他地区と比較し、スポーツ施設の数や施設の種類の数が少なくなっています。 ・市川市のスポーツ施設は、全般的に老朽化が進んでいます。 ・市川市のスポーツ施設の整備水準は、近隣地区に比べ平均的な水準となっているが、江戸川区・江東区と比較すると低くなっています。 ・公共のスポーツできる空間や、公共スポーツ施設が、市民のスポーツ活動の場として利用されています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツをする空間・場所の確保、充実 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市民の 34.1%の人が週に1回以上スポーツを行っている一方、ほとんど行っていない人が35.9%を占め、スポーツ実施頻度に、個人差があり、二極化の傾向が見られます。 ・週に1回以上スポーツを行いたい人が、現況に比べ、34.1%から70.4%に大きく増加しており、多くの人々が現況より多くの頻度で、スポーツに取り組む意向があることが分かります。 ・20歳代、30歳代といった若年層のスポーツ実施率が低く、30歳代で最も低くなっています。 ・市川市のスポーツの実施状況は、全国と比べ、全般的に低くなっています。 ・スポーツをしない理由として、仕事や家事、勉強等が忙しく、時間が無い、参加するきっかけがないといった理由があげられています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツをする空間・場所の確保、充実 ・スポーツ団体・クラブの育成 ・スポーツ機会の創出 ・スポーツ競技力の強化 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動団体に所属していない人の割合が80.5%と高くなっています。 ・スポーツ活動団体に所属していないが今後所属したい(17.4%)といった潜在的なニーズがあることが分かります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体・クラブの育成 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関する情報について、特に入手してない割合が、35.0%を占めています。 ・施設の利用方法、施設の有無や施設概要が、欲しいスポーツに関する情報として多くあげられています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ情報の収集・提供 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市川市では、スポーツ教室や青少年のクラブ活動など多くの場面で、スポーツ指導者が必要とされていますが、現在、指導者の不足が指摘されています。(市民ワークショップでのご意見) | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを支える人材の育成・確保 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市川市の中学生の体力は、全国平均より高くなっていますが、小学生は全国平均より低くなっています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツをする空間・場所の確保、充実 ・スポーツ団体・クラブの育成 ・スポーツを支える人材の育成・確保 ・スポーツ機会の創出 ・スポーツ競技力の強化 |